

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:村上

会議名: 第3回 C 農業を元気にするプロジェクト推進会議

日時: 平成 28年 7月 1日(金) 午後7時30分~10時00分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 山本、杉田、林浩、津田、本城、樋上、岩井、西村、佐藤、川端

出席者(行政): 農政課井上係長、館長、会館主事

使用資料: 次第

議題

- ・勉強会「中洲学区の農業活性化に向けて」
- ・その他
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

●勉強会「中洲学区の農業活性化に向けて」

- ・上記標題について、もりやま食のまちづくりプロジェクト 地産地消・食育推進チーム 副リーダー 川端 均 氏 (JAおうみ富士 食育園芸部長)をお招きして、懇談会形式でお話しいただいた。

《懇談内容》

- ・川端氏がおうみんちオープン(2008年)の前年から今までに至る中で、おうみんちを運営する上で工夫された様々な取り組みについてお話しいただいた。

(主な内容)

- ・購入者の気持ちを農家につなげることで、農家の生産を支援する。
- ・利用者の声を取り入れた。(喫茶・食事スペース)
- ・農家には野菜はあるが、毎日出荷できるかはわからないことから、取り放題がきっかけで体験型農業が始まった。また、次回の連絡をするのに、個人情報取扱いの関係から、「青空フィットネスクラブ」が誕生した。「青空フィットネスクラブ」は平成28年6月13日(月)に「日本サービス大賞」で優秀賞(Spring)を受賞した。
- ・体験型農業では、収穫体験と種まき体験をセットに行ない、参加者には収穫で取れた物をお礼として渡し、種まきで労力を提供してもらう。
- ・農業はまだまだ可能性がある。また、中洲は宝もの、良いところがたくさんある。
- ・アクティブシニア(元気な60歳)で農業をされる方が多い。55歳から農業を学べるサポートができるが良い。
- ・おうみんちは生産者のトレーニングセンターのようなもの。試験的に作成されたものをバイヤーに認めてもらえるまでの出荷場。市場とはライバルにならない。
- ・子どもの農業との接点が減ってきた。→おうみんちのレストランでは、子育て世帯の利用が多い。フェイスブック等の情報発信の活用能力もすごいので、口コミで広がっていく。広報次第でやりたい人10人がいずれ100人に増える可能性がある。
- ・何かをやって活路を見出す。
- ・仕掛け作りが重要。何%ずつかのマンパワーを集落から出す。

決定事項

次回以降について

- ・今回の懇談の中で、Cプロジェクトでもできる内容を協議する。

・次回は8月9日(火)19:30~ 中洲会館